

閉鎖式パル輸液セット  
(フィルター付)

薬剤部調製用(医師は投与量入力不要)

患者ID @PATIENTID

患者氏名 @PATIENTNAME

診療科 @USERSECTION 医師名 @USERNAME

レジメン開始予定日(必ず入力)

年 月 日

## アバスタチン・m-FOLFOX 6(進行・再発大腸癌)

14日/1コース

5-FU 急速静注 15分

I-LV

アバスタチン	L-OHP	5-FU CVCポートより46h持続静注
30~90分	120分	

【参考】	アバスタチン	5または10mg/kg/day →初期設定: 10	投与間隔は2週間以上
	レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	
	エルプラット	85mg/m <sup>2</sup>	
	5-FU	急速静注: 400mg/m <sup>2</sup>	
		持続静注: 2400~3000mg/m <sup>2</sup>	→初期設定: 2400

※アバスタチン投与時間: 初回は90分、2回目は60分、3回目以降は30分に短縮可

\*レジメン開始後、投与スケジュール変更(休薬・減量等)コメント欄

*メインルート、側管ともに点滴ポンプを使用すること。				
①day01				
療法プロトコール				
Rp.1	生理食塩水 アロキシ デキサート	100ml 1A 3A	30分	点滴
Rp.2	生理食塩水 アバスタチン	100ml ( )mg	※90分	点滴
Rp.3	5%ブドウ糖 レボホリナート	250ml ( )mg	120分	点滴
Rp.4	5%ブドウ糖 エルプラット	250ml ( )mg	120分	点滴
Rp.5	5%ブドウ糖 5-FU	100ml ( )mg	15分で	急速静注
Rp.6	生理食塩液	50ml	15分	点滴
Rp.7	生理食塩液50ml 5-FU	★50ml ( )mg	インフューザーポンプより 46時間持続	
14病日に休薬完了				
★「(フリーコメント)生食で全量100mlにする」→薬剤部で生食を必要量採り、全量100mlに調整する 全量を変更する場合は、★の生食の投与量を変更し、フリーコメントを行削除する				
②day01(2回目以降)・・・登録書・説明書抜き				
Rp.2 アバスタチン投与時間※60分で設定				

Rp.3とRp.4  
同時に開始